

分会活動経験交流集会

動画報告で活躍する若手を可視化 支部報告

分会活動経験交流集会の初日の全体会で、6つの支部の若手から活動の報告がありました。まずは事前に撮られた10分程度の動画が流され、登壇者があらためてレジュメに基づき、経験、教訓、思いを語りました。その一部を紹介します。(文責・見出し共に編集部)

三鷹武蔵野

「直属」解消で人づくり 地道な事業所訪問が下地に



三鷹武蔵野支部の武蔵野中央分会の谷口組織部長と、その誘いをうけた(株)武蔵野中央分会の後継者対策部長の阿部哲さん、豊永伸一郎さん(後継者対策部長)と、竹内敦さん(後継者対策部長)の3人がカメラを向けてポーズを決める。左より阿部哲さん、竹内敦さん、豊永伸一郎さん

でが流されました。登壇した3人はコミカルなやり取りで笑いを取りながら、支部の4分の1の人員が地域分会の所属ではなくいわゆる「支部直属」になっている現状とその克服にむけた取り組みを報告しました。

保険証交換会では「インボイス」や「石綿関連」のアンケートを実施、組合情報を届けるLINEへの登録も呼びかけました。そして、(株)ハナタの場合は、「他職種とのつながりや支部からの情報も入りやすい」と地域分会への移動を持ち掛け「谷口さんの分会なら」と返事をもらうことができました。それまで、谷口組織部長が事業所訪問を繰り返して顔見知りになっていたことが下地となりました。

「この経験は色々な条件が重なった結果」としながら、昨年からの7回開催の後継者交流会についても報告。6月に

加入半年で副分会長 「安心できる方達なので」

大田支部の動画の主演は六郷分会の分会長、河西勲さんと分会組織部長の清水裕行さん。それぞれ2年目と1年目のフレッシュな役員2人の活躍を通じ



高橋さん

て、仲間づくりと後継者育成にむけた分会の取り組みが映像で報告されました。

組合加入4年目で組織部長になった清水さん。実は加入半年で副分会長を任せられました。「早すぎませんか」との質問には「みなさん安心でき

る方達なので」と笑いながら答えていました。その後、ベテラン役員のサポートの下、はじめてのポスティングに取組む様子や「頼りになる仲間だ」と語る河西分会長の映像などが流されました。

動画報告の後で、壇上で報告したのは副委員長の高橋晃一さんと後継者対策部長の若林亨さん。272人、25群の六郷分会の概要と共に「やらされてる感を持たずに仲間と一緒に楽しく取り組む」とい

は「組合の10年後の未来を考えよう」という企画を催して熱く議論を交わし、今後後継者育成を述べました。

文京 共感促す素晴らしい環境 「東京土建は全都洋々」

文京支部は7人で登壇。事業所分会を含む4分会からの参加となりました。報告者は

支部後継者対策副部長の大鶴圭二さん。支部、ブロック、組織の垣根を越えた後継者の

仲間づくりの幅広い取り組みが報告されました。6月の技術研修センター会場としたドローンセミナー(豊島支部後継者対策部、豊島文京民商青年部の若手3組織の共催)では、参加60人のうち2割が初参加。文京支部からは16人が参加しました。

月間中の対話の中では、ドローン免許を持っている事業所が続いています。住宅デーでも、新加入の後継者世代の建築士が住宅相談員として参加してくれました。「鉄は熱いうちに打て」とばかりに要請したところ快諾を得た結果でした。

新宿 色々な種が花を 分会という「家族」の協力

冒頭の「事業所こそ人材の宝庫」と題した支部報告動画では、後継者作りを奮闘する

武蔵野中央分会の谷口組織部長と、その誘いをうけた(株)武蔵野中央分会の後継者対策部長の阿部哲さん、豊永伸一郎さん(後継者対策部長)と、竹内敦さん(後継者対策部長)の3人がカメラを向けてポーズを決める。左より阿部哲さん、竹内敦さん、豊永伸一郎さん

み合いながらも、お互いを尊重し合いながらうまくやっています。「余丁町分会ではベテランの知恵と経験、若手の参加と活躍でお互いが家族のように認め合っています」のテロップで終了。

壇上での報告は、執行委員の森敏郎さん(49歳)と支部副委員長で組織部長の隅田祐太郎さん(36歳)から次の様な話で、映像にない分会の姿が語られました。

2017年から『全世代型』のメンバーが居て、楽しい雰囲気があるから。

2017年から『全世代型』のメンバーが居て、楽しい雰囲気があるから。

2017年から『全世代型』のメンバーが居て、楽しい雰囲気があるから。



隅田さん(支部副委員長)

映像は、雨予報の中、住宅デー決行の是非で、ベテランと若手の間に微妙な空気が流

れ、当日朝は土砂降りの雨から徐々に晴れて大盛況となる奇跡のストーリー。半分いが

くるとなると、同年代のメンバーが居て、楽しい雰囲気があるから。



文京支部のみなさん(左より2人目が大鶴さん)

大鶴さんから「拡大行動に初参加した感想を」と振られた第五分会の佐藤郷志さんは「組合員に直接会って生の悩みを聞き、それを仲間が集まって共感して考えられるのはとても素晴らしい環境だと思う。一人でも2人でも増やしていければ」と話しました。最後は全員で声を合わせて「東京土建は全都洋々、ともにがんばろう」と会場に呼びかけました。